



# 熊本大学 五高記念館ごあんない

## ■旧制第五高等学校の沿革

- 明治19年(1886) 4.12 中学校令公布、同13日高等学校官制制定まる。
- 明治20年(1887) 4.15 第五高等学校の設置が熊本に決定される。  
8.27 第五高等学校医学部長崎に設置される。  
11.14 予科3級24名、仮入学57名、合計81名に対し入学式を挙  
行し授業が開始される。
- 明治22年(1889) 8. 第五高等学校本館竣工。  
12. 第五高等学校化学実験場竣工。
- 明治23年(1890) 6.18 医学部に薬学科が付設される。  
10.10 開校式を行う。
- 明治24年(1891) 8.13 文部省参事官嘉納治五郎が本校校長に任命される。  
11. 9 ラフカディオ・ハーン教師着任。
- 明治25年(1892) 7.10 第1回卒業式を挙げる。  
10.10 10月10日を開校記念日とする。
- 明治27年(1894) 9.11 第五高等学校と改称される。
- 明治29年(1896) 4.14 夏目金之助(漱石)講師着任。  
7. 1 予科を廃止する。  
4.17 工学科を付設する。
- 明治30年(1897) 4. 1 医学部が独立して長崎医学専門学校となる。
- 明治39年(1906) 3.29 工学科が独立して熊本高等工業学校となる。
- 大正10年(1921) 4. 告別式(卒業式)を3月、入学を4月に変更
- 昭和 6年(1931) 1.10 校旗が制定される。  
11.15 天皇陛下、本校に幸す。
- 昭和12年(1937) 10.10 開校50周年記念式典を挙げる。
- 昭和17年(1942) 3.30 臨時措置により、第3学年は9月30日に修了することになる。
- 昭和18年(1943) 1.20 高等学校令が改定され、昭和18年4月から2年課程となる。
- 昭和21年(1946) 5. 4 高等学校が3年課程に復される。
- 昭和24年(1949) 5.31 熊本大学へ包括される。
- 昭和25年(1950) 3.25 第五高等学校課程修了式を行う。
- 昭和44年(1969) 8.19 旧第五高等学校本館、化学実験場及び正門(赤門)が  
国の重要文化財に指定される。
- 昭和62年(1987) 10.10 開校100周年記念式典を挙げる。
- 平成 5年(1993) 10. 9 旧五高本館を、「五高記念館」として一般公開。
- 平成12年(2000) 4. 1 熊本大学「五高記念館」となる。

## ■歴代校長

- 初代 野村彦四郎 (1887~1889)
- 第2代 平山太郎 (1889~1891)
- 第3代 嘉納治五郎 (1891~1893)
- 第4代 中川元 (1893~1900)
- 第5代 櫻井房記 (1900~1907)
- 第6代 松浦寅三郎 (1907~1913)
- 第7代 吉岡郷甫 (1913~1921)
- 第8代 溝渕進馬 (1921~1931)
- 第9代 武藤虎太 (1931~1932)
- 第10代 十時彌 (1932~1940)
- 第11代 添野信 (1940~1944)
- 第12代 本島一郎 (1944~1948)
- 第13代 竹内良三郎 (1948~1949)
- 第14代 河瀬嘉一 (1949~1950)



五高全図  
工科生だった富田、渡辺、瀧川、天草の4氏が明治42年2月共同で作成した。

## ■五高人物史

**嘉納治五郎**  
(1860~1938)  
兵庫県生まれ。講道館柔道の創始者。明治23年学習院教授となり、宮内省御用掛を歴任。明治24年第三代第五高等学校校長に就任。柔道を奨励し、またスポーツの隆盛に貢献。

**ラフカディオ・ハーン**  
(小泉八雲) (1850~1904)  
ギリシャ生まれの英国人。明治23年来日。明治24年第五高等学校に赴任。日本の怪奇伝承を英語で紹介した「怪談」は有名。熊本在任中に「知られざる日本の面影」「東の国から「心」」等を執筆。

**夏目漱石**  
(本名 夏目金之助) (1867~1916)  
明治23年東京帝国大学文科大学入学。明治29年第五高等学校講師として着任。代表作「草枕」の旅に出たのも熊本在任中のことである。

**寺田寅彦**  
(1878~1935)  
明治一昭和期の物理学者・随筆家。五高で漱石に師事。東大教授。関心は物理学の全分野に及ぶ。独特の写実文や科学随筆で知られる。「寺田寅彦全集」ほか。

**瀧川白村**  
(1880~1923)  
英文学者。本名、辰夫。京都生まれ。五高教授から京大教授。自由主義の立場から文明批評を行い、西洋文芸、思潮の紹介につとめた。「近代文学十講」「近代の恋愛観」などを著す。(写真:毎日新聞社提供)

**大川周明**  
(1886~1957)  
国家主義思想家・運動家。山形県生まれ。五高から京大卒。大正8年、北一輝と猶存社、とくに行地社を結成。5・15事件等の思想的指導者。

**宇野哲人**  
(1875~1974)  
中国哲学者。熊本生まれ。五高から京大卒。大蔵省を経て、東大教授となる。法政大総長。日本におけるマルクス主義経済学の指導者。戦後の社会福祉制度や平和問題、憲法問題でも活躍。

**大内兵衛**  
(1888~1980)  
政治家・首相。兵庫生まれ。五高から京大卒。大蔵省を経て、東大教授となる。法政大総長。日本におけるマルクス主義経済学の指導者。戦後の社会福祉制度や平和問題、憲法問題でも活躍。

**池田勇人**  
(1899~1965)  
政治家・首相。広島生まれ。五高から京大卒。大蔵省を経て、東大教授となる。法政大総長。日本におけるマルクス主義経済学の指導者。戦後の社会福祉制度や平和問題、憲法問題でも活躍。

旧制第五高等学校の赤煉瓦の本館は明治22年に完成し、以来100年以上の風雪に耐えながら、今なお優美な姿をとどめています。本館は、かつては五高の、昭和24年以降は熊本大学の象徴として、今日も人々に親しまれており、平成5年より「五高記念館」として一般公開されています。

この校舎では、夏目漱石をはじめとする多くの優れた個性あふれる教師が教鞭をとり、またここから、池田勇人・佐藤栄作の二人の総理大臣をはじめとする多くの有為の人材が各界に送り出されてきました。ちょっとタイムスリップして、かつての旧制高校の学生生活を心ゆくまで味わって下さい。

また、本館では平成11年より、毎年10月~11月に「五高記念館公開講座」を開いています。

### 第三展示室 <五高を飾る著名教授陣>

五高の歴史とともに語り継がれる著名教授や名物教授をエピソードや業績とともに紹介します。



### 第四展示室 <五高が誇る多彩な人材群>

1万3千人にのぼる卒業生を誇る五高同窓生。著名な卒業生をエピソードや業績とともに紹介します。



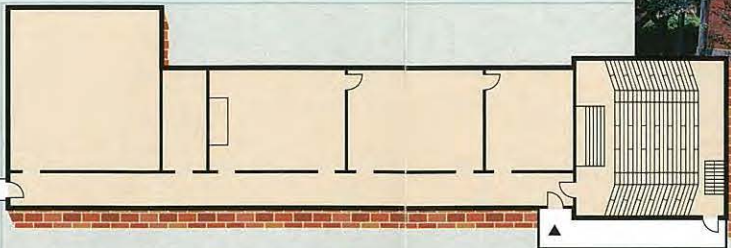
### 第五展示室 <五高精神と龍南生活(I)>

~学校生活・龍南会~  
試験問題やノート類などが展示され、創立当初からエリート校として知られた五高の生徒たちの勉強ぶりがかかえります。



### 第二展示室 <五高建造物>

明治22年(1889年)に完成した旧制第五高等学校本館(赤煉瓦館)は、明治時代の熊本の代表的な洋風建築であり、イギリスのクィーン・アン様式に習ったといわれます。赤煉瓦造りの本館は、化学実験場、表門及び設計図とともに、国の重要文化財に指定されています(昭和44年8月19日指定)。



### 化学実験場

この建物は、フランスで建築を学んだ山口半六の設計になるもので、明治22年に完成しました。西側廊下を設けて、熊本の西日を避け、南には特徴ある階段教室が設けられています。



### 第一展示室 <五高開校から閉校まで>

明治20年5月から昭和25年までの60余年にわたる五高の歴史を回顧します。



### 第六展示室 <五高精神と龍南生活(II)>

~勉強と遊び・寮生活~  
全寮制であった五高生の寮生活や五高生の学外でのエピソードの数々は、当時の熊本における五高の位置付けがうかがえます。



**木下順二**  
(1914~)  
戯曲家・小説家。東京都生まれ。五高から東大英文科卒。神風連を描いた「風浪」などの歴史劇、民話劇、現代劇の作家であり、演劇理論家。その他、「夕鶴」や「子午線の呪り」など。



**梅崎春生**  
(1915~1965)  
小説家。福岡県生まれ。五高から京大卒。昭和21年、戦争体験を描いた「桜島」でデビュー。異色の戦後派作家として注目される。その他、「日の果て」「幻化」などを著す。昭和29年、直木賞受賞。(写真:毎日新聞社提供)



**佐藤栄作**  
(1901~1975)  
政治家・首相。山口県生まれ。五高から京大卒。鉄道省を経て政界に入る。昭和39年、首相に就任。7年8ヶ月の史上最長の任期を記録。昭和47年、沖縄返還を実現。ノーベル平和賞を受賞。

熊本大学の学内には五高記念館以外にも歴史的記念物が多数残っています。緑豊かで落ち着いた雰囲気の中で、歴史散策を楽しんで下さい。



- ⑩ 黒本植先生の碑
- ⑪ 第五高等学校跡の碑
- ⑫ 夏目漱石先生の碑  
夏目漱石先生の銅像・句碑
- ⑬ 化学実験場  
(重要文化財)  
平常は閉鎖。階段教室は当時のまま。

- ⑭ 事務局本館(登録文化財)
- ⑮ 工学部研究資料館  
(重要文化財)



- 館内での喫煙、飲食はできません。
- 建物の周囲20m以内での火気の使用はできません。
- 展示品には、お触れにならないようお願いいたします。
- 静かに見学ください。
- お手洗いは、館内にはありません。体育館東の屋外トイレをご利用ください。

## 旧制第五高等学校本館・化学実験場の概要

- ◆位置 熊本市黒髪2丁目40番1号
- ◆建物面積  
本館 1,806㎡ 地上2階  
実験場 419㎡ 地上1階
- ◆建物 煉瓦組構造



### 交通アクセス

〈黒髪地区〉

- 熊本駅から 産交バス阿蘇・大津方面行き「熊大前」下車 (30分)  
市営バス第一環状線「子飼橋」下車、徒歩10分
- 交通センターから 産交バス阿蘇・大津・武蔵ヶ丘方面行き「熊大前」下車 (15分)  
市営バス竜田口線、楠線「熊大前」下車

## 入場無料

◆開館時間 午前10時～午後4時  
(入場は午後3時30分まで)

◆休館日 毎週火曜日、国民の祝日  
12月28日～1月4日  
(熊本大学の行事の都合上、臨時に閉館する場合があります。)

## 熊本大学 五高記念館

〒860-8555  
熊本市黒髪2丁目40番1号 ☎096-342-2050

# 重要文化財 熊本大学 五高記念館

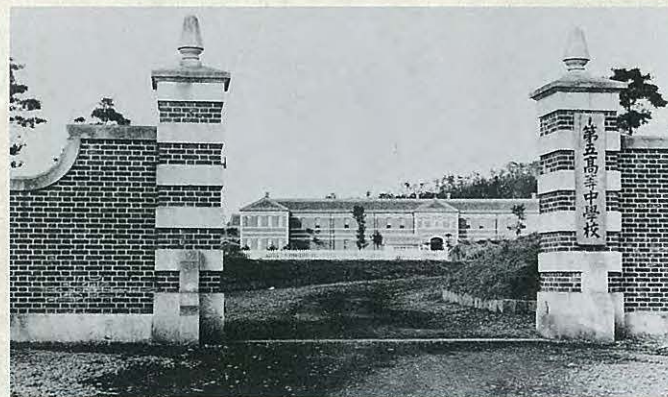
旧制第五高等学校



赤煉瓦の色も鮮やかな旧制五高本館  
(重要文化財)



(右) 通称「赤門」として知られる正門  
(重要文化財)



創立当時の第五高等学校の正門。明治22年7月、熊本市古城町の仮校舎から移転した。

## 熊本大学

Historic Spots  
in  
kumamoto  
University

# 学内探訪 マップ

### ② 中門の門柱



### ④ 樹木園由来の碑



### ⑥ 「武夫原頭」の歌碑



### ⑦ 小泉八雲先生の碑



### ⑧ 嘉納治五郎先生の碑



### ⑨ 花陵会館



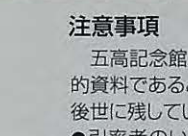
### ① 正門(重要文化財)



### 山崎記念館(登録文化財)



### 肥後医育記念館



### 熊薬百周年記念ホール



### ⑩ 旧制五高本館(重要文化財) 現在は五高記念館になっている。



### 医学部



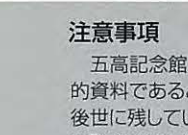
### 工学部



### 薬学部



### 文学部 法学部



### 注意事項

- 五高記念館は、国指定の重要文化財です。また、展示資料は、貴重な歴史的資料であるとともに、国民共有の文化遺産です。いつまでも美しく保存し、後世に残していくために、次の事項についてご協力をお願いいたします。
- 引率者のいない中学生以下の入場はできません。
- 土足厳禁(スリッパに履きかえて下さい。)

白川